

(仮称)新神谷公園

「施設配置案の報告会」

令和6年1月19日 18:00

神谷区民センター 第1ホール

▶ 開会

- ✓ 開会のご挨拶

▶ 本日のスケジュール

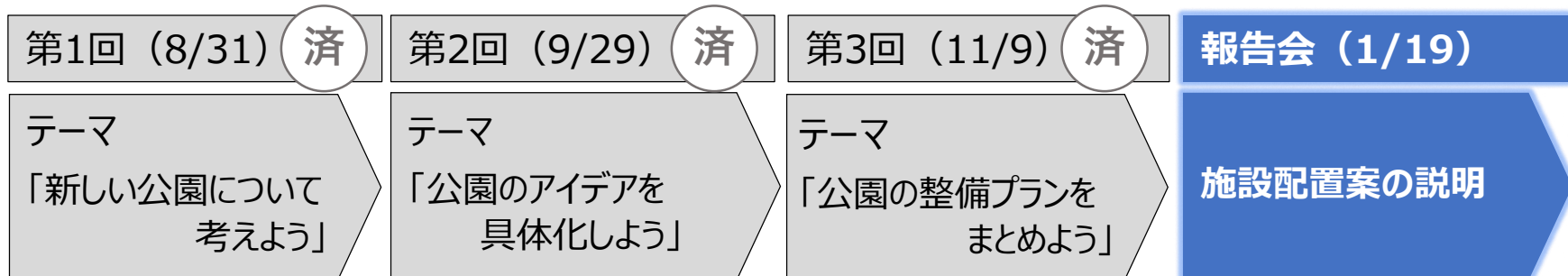
- ① 全体スケジュール・計画地の概要
- ② ワークショップの振り返り
- ③ 施設配置案の説明
- ④ 質疑応答
- ⑤ 今後の予定
- ⑥ 閉会

▶ 全体スケジュール

○ R5年公園基本設計

整備内容を検討するワークショップを開催し、地域の皆様と情報を共有し、意見を出し合いながら整備内容をまとめてきました。

■ ワークショップスケジュール（予定）



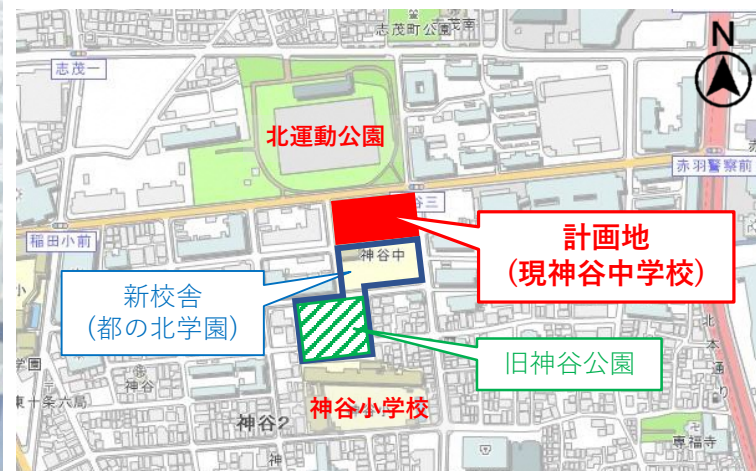
▶ 計画地の概要：公園整備事業について

○ 都の北学園の新築

- ✓ 稲田小学校、神谷小学校、神谷中学校を統合し、小中一貫校を建設
- ✓ 現・神谷中学校の敷地に、新たな公園を整備

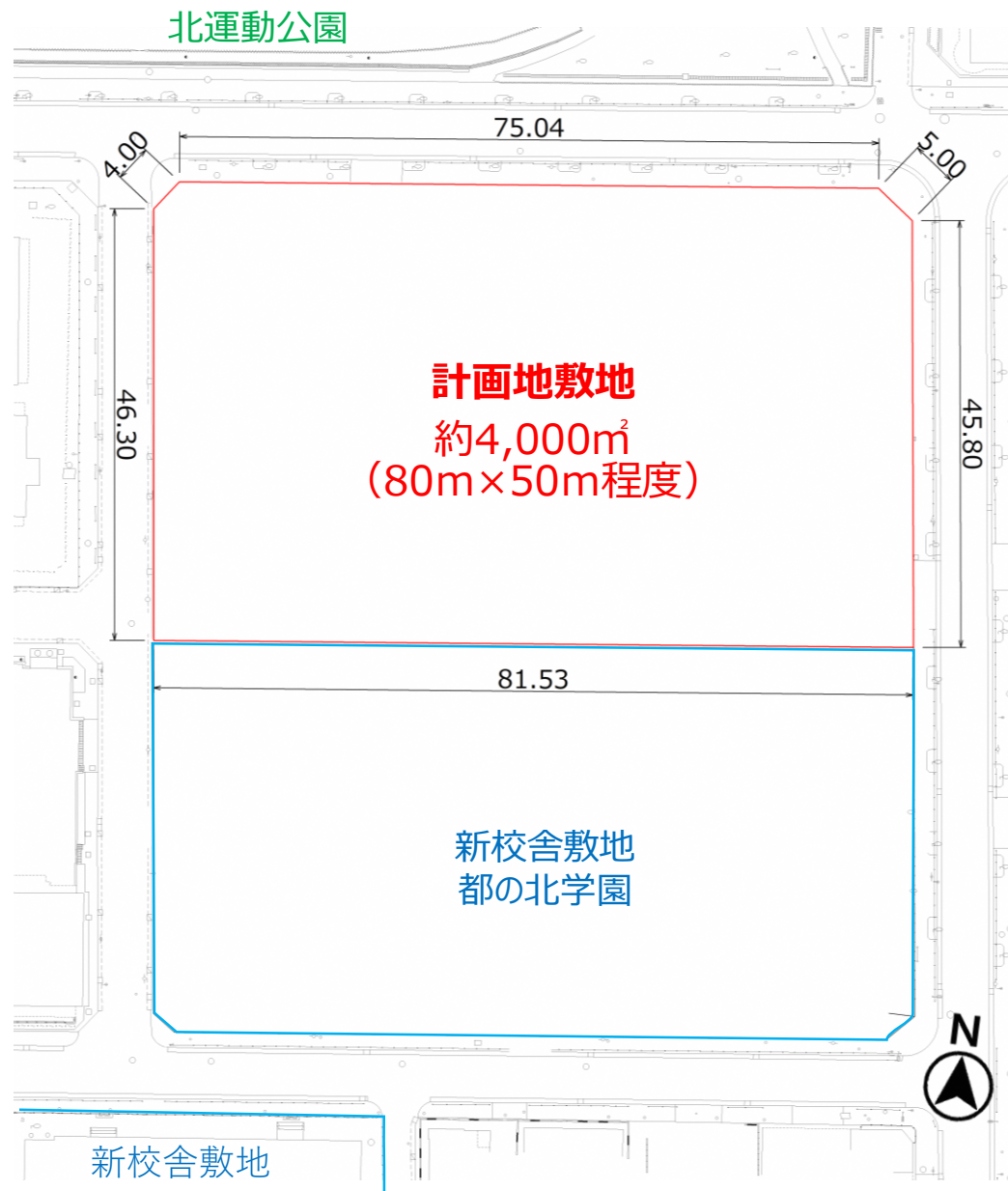


新校舎イメージ（北側から）



新校舎と新設公園の位置

▶ 計画地の概要：計画敷地の確認



▶ ワークショップの振り返り

第1回 (8/31)

「新しい公園について考えよう」… 公園のアイデアを出し合う



第2回 (9/29)

「公園のアイデアを具体化してみよう」… ゾーニング案をつくる



第3回 (11/9)

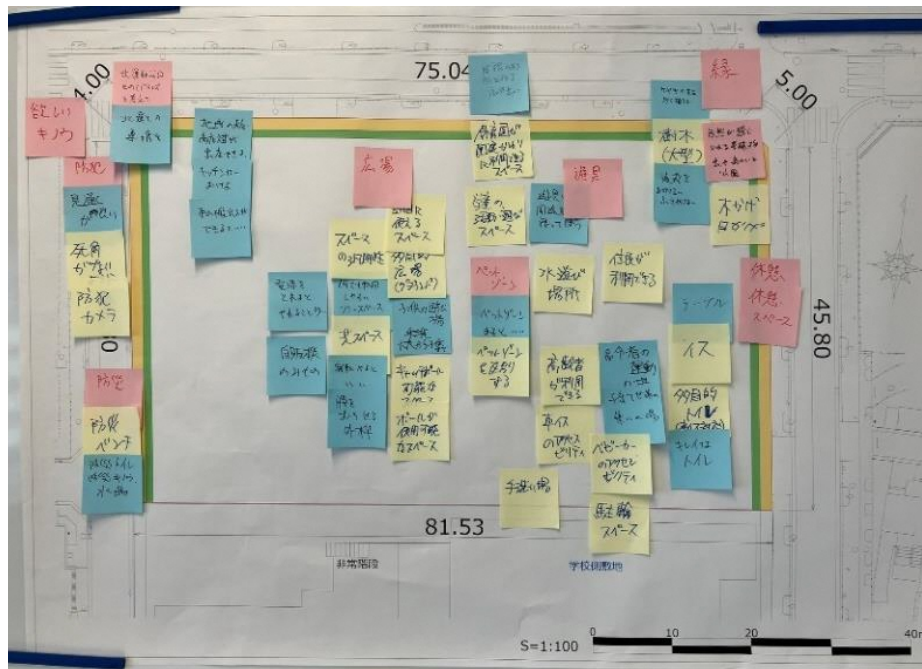
「公園の整備プランをまとめよう」… 施設配置案をつくる

- ✓ 各WSでは、複数のグループにわかれて意見交換を実施。
- ✓ 第1回・第2回を含めこれまでのワークショップの内容を、簡単にご紹介いたします。

▶ ワークショップの振り返り(第1回)

テーマ：「新しい公園について考えよう」

- ✓ 第1回ワークショップでは、4つのグループにわかれて、意見交換を実施。
- ✓ どんな利用がしたいか、こんな施設・遊具が欲しいといった、公園に関する様々なアイデアを出し合う。



グループ成果例

アイデアの全体的な傾向

【利用者層】

世代を問わない利用、地域住民の利用

【機能面】

子供の遊び場・遊具(保育園や学童クラブでの利用も)

ボール利用が可能なスペース

多目的な利用ができる広場(走り回れる・イベント)

大きな樹木や木陰(旧神谷公園のような)

防災機能(防災ベンチ・水場・広場)

【具体的な施設】

ベンチ(休憩施設)、遊具、トイレ

水飲み・手洗い場

▶ ワークショップの振り返り(第1回)

□公園整備に関するアンケート

町会と神谷小中学校が連携して、公園整備に関するアンケートを実施

- 設問（回答：自由記述式）

「都の北学園の側に、新しく公園をつくる計画があります。どのような公園があると良いでしょうか。具体的な提案をしましょう」

- アンケート対象

神谷小学校：児童53名 神谷中学校：生徒63名

○アンケート結果の概要

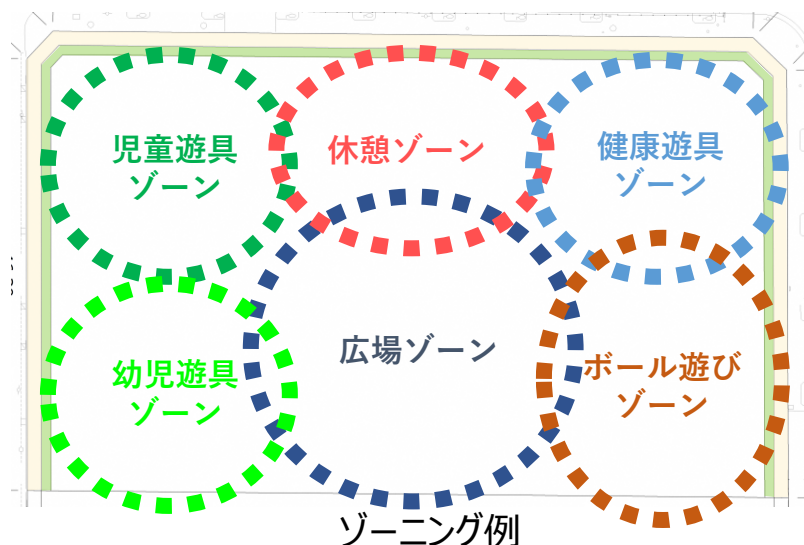
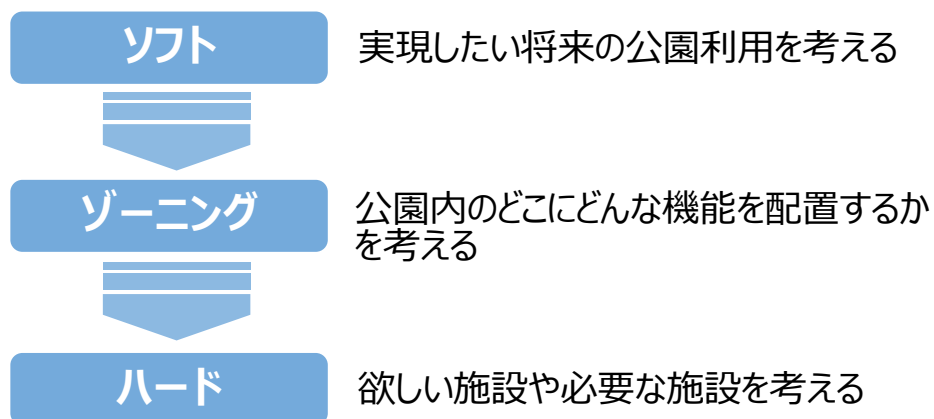
- ✓ 小中学校ともに「遊具」に関する意見が、多数挙がっていた。
（「ぶらんこ」が最も人気で、ほかに「すべり台」、「鉄棒」、「砂場」、「健康遊具」等）
- ✓ 欲しい施設として、旧神谷公園にもあった「ボール遊び場」の要望が強く、ベンチ・日よけなどの「休憩施設」も多数挙がっていた。
- ✓ 公園利用に関しては、高齢者等の多世代の利用を意識した回答が多く、「どんな年代でも利用できる」という考えが、小中学校で共通していた。

▶ ワークショップの振り返り(第2回)

テーマ：「公園のアイデアを具体化しよう」

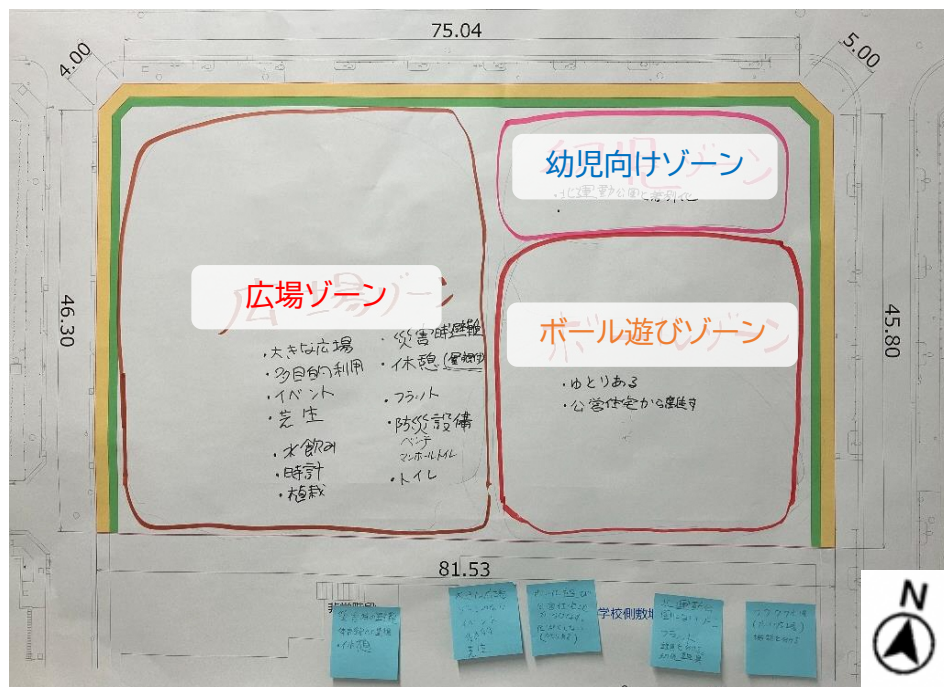
- ✓ 第2回ワークショップでは、3つのグループにわかれて、意見交換を実施。
- ✓ 北区観光協会から、将来の公園利用（ソフト）について考え、それらを実現するために必要な施設（ハード）を考える、といったアイデアを具体化するヒントとなるお話しや、公園でのイベントなどの利活用例を紹介いただく。
- ✓ 各グループでは、どんなふうに公園を利用したいかといった「公園利用の将来像」を考えながら意見交換を行い、ゾーニング案を作成。

●意見交換方法



ソフトを起点に、ゾーン及びハードを考え、各グループでゾーニング案を作成。

▶ ワークショップの振り返り(第2回)



グループ成果例

主な共通意見

- 広場ゾーン (多目的な利用が可能)
- 周辺との連携 (北運動公園等)
- ベンチ
- みどり (樹木、植栽、緑化)
- 日よけ (屋根付き休憩施設、日陰、藤棚等)
- 幼児向けゾーン
- ボール遊びゾーン(囲いあり)
- 水飲み
- 芝生
- トイレ

共通した公園整備の方向性

「多目的な利用が可能な大きな広場」

「北運動公園や周辺との連携 (ほかにはない機能・施設)」

▶ ワークショップの振り返り(第3回)

○第3回ワークショップ

日 時 : 令和5年11月9日 (木) 18:00~20:00

場 所 : 神谷区民センター 2階 第1ホール

参加者 : 15名

テ ー マ : 「公園の整備プランをまとめよう」

- ✓ 第3回ワークショップでは、2つのグループ (A・Bグループ) にわかれて、第2回ワークショップで出されたゾーニング案をもとに意見交換を行い、より具体的な施設配置案を作成しました。
- ✓ 第3回ワークショップの各グループの成果と、共通意見についてとりまとめましたので、ご紹介いたします。

▶ ワークショップの振り返り(第3回) : Aグループ成果



○整備プランの主な特徴

※注：写真下が北側となっております。

広場を中心に世代を問わず多目的な利用が可能な公園

○ゾーニング

①広場ゾーン ②幼児遊具ゾーン ③ボール遊びゾーン ④休憩ゾーン ⑤園路ゾーン ⑥緑化ゾーン

▶ ワークショップの振り返り(第3回)：全体のまとめ

○全体のまとめ

- ① 主なゾーン種別と配置は概ね一致。
- ② 周辺との連携や近隣への配慮、多様な利用者層や利用用途に対応。
- ③ 両グループとも全体に植栽を配置する考えであり、植栽配置に関して大きな相違はない。

○共通の施設

- ① 広場（多目的な利用に対応）
- ② ボール遊び場（可動式フェンス）
- ③ 休憩施設（パーゴラ・ベンチ類）
- ④ 幼児遊具類（ABC公園にない種類等）
- ⑤ 植栽（全体にバランスよく配置、維持管理を考慮）
- ⑥ トイレ
- ⑦ 水飲み

▶ 施設配置案の説明：区の方

周辺の土地利用の変化などの
現況の課題 + 全3回のワークショップ成果

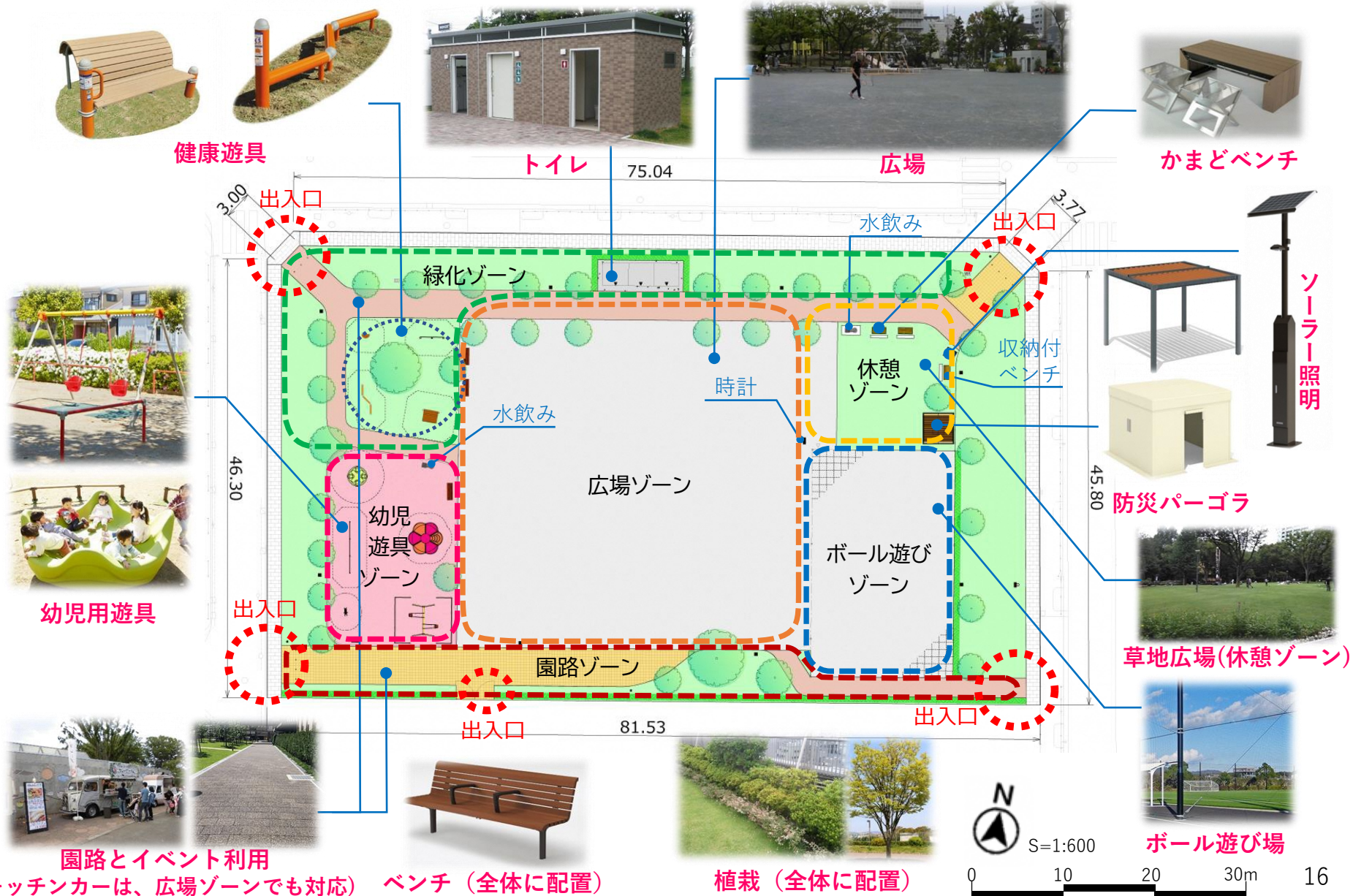


施設配置案の区の方

**誰もが親しみを持ち
豊かな個性で周辺公園や学校などと連携し
地域を魅力づける公園**

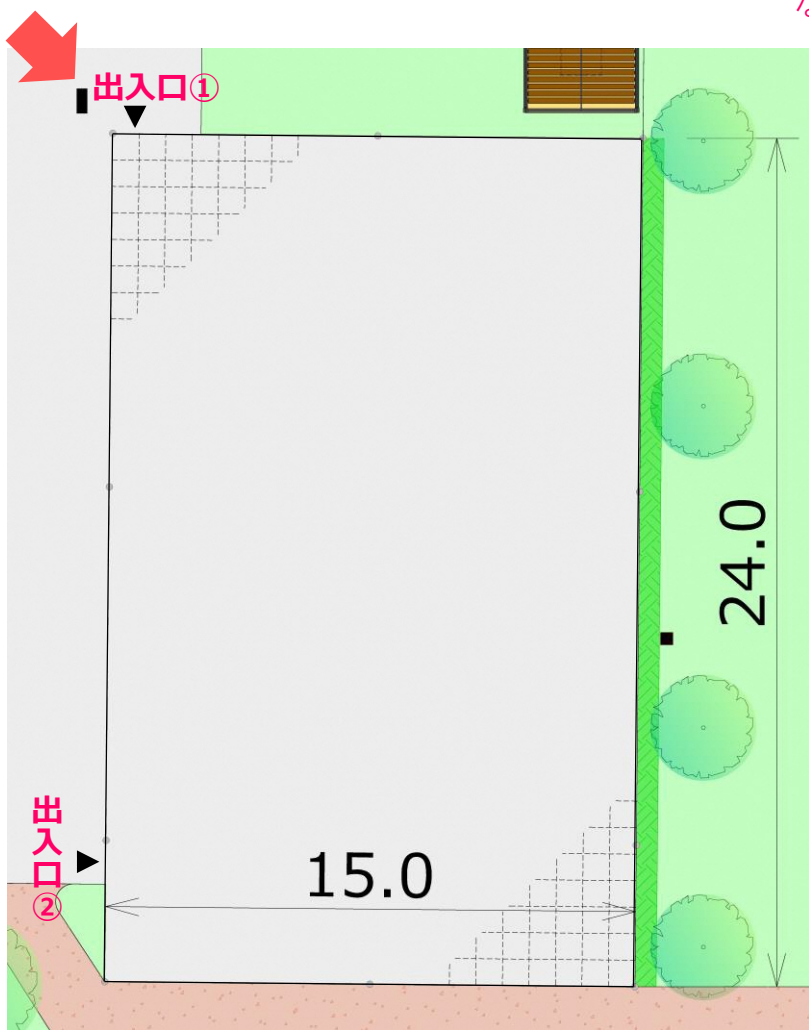
周辺の土地利用や 公園利用者層の変化に伴い 新たなニーズに対応した公園づくりが求められています
旧神谷公園の持つ機能や趣を取り入れ 親しみをもつとともに 多様な利用者層やニーズに対応した
個性ある公園をつくり 周辺公園にない個性を持つことで 神谷地域全体の魅力向上を目指していきます

施設配置案の説明：ゾーニング・施設配置案



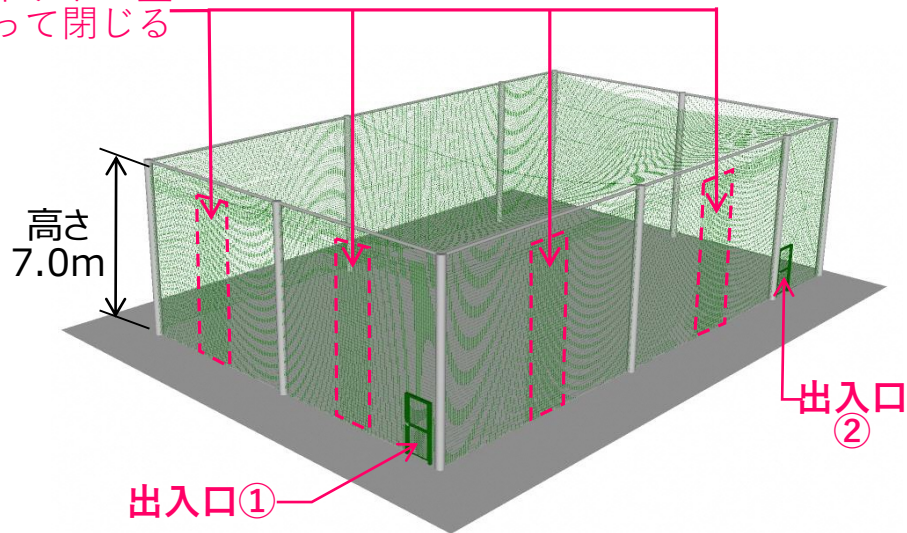
▶ ボール遊び場

パース視点



平面配置

中央部で2つのネットが重なって閉じる



イメージパース

中央部で2つのネットが重なって閉じる

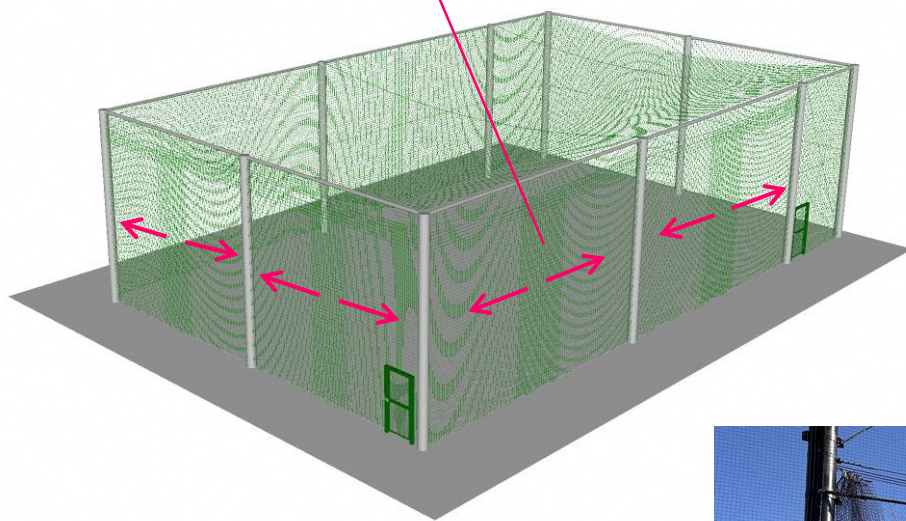


イメージ写真

▶ ボール遊び場

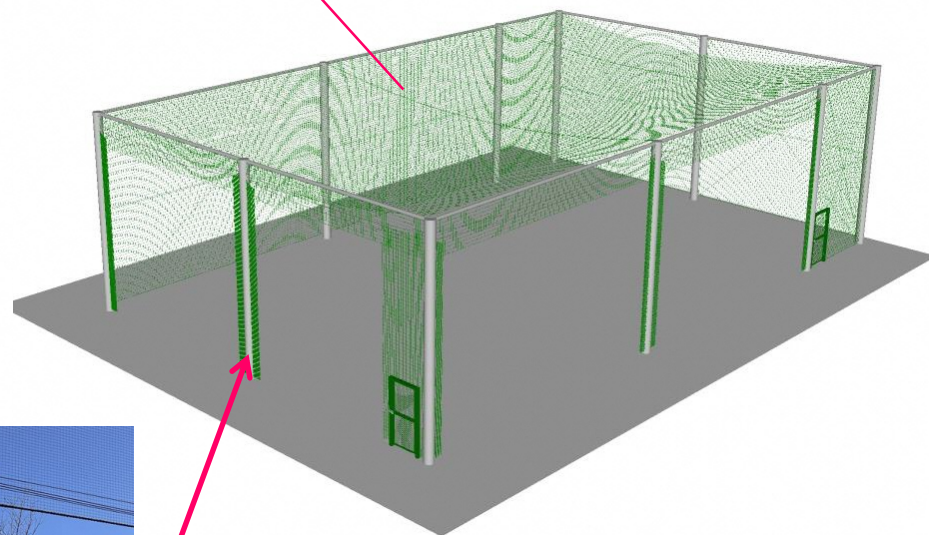
- ✓ 側面ネットを可動し、広場ゾーン側（西側）と休憩ゾーン側（北側）のネットを開放する事が可能

ネット中央から柱に向かって開く



側面ネット閉鎖時

天井ネットは開かない



側面ネット開放時



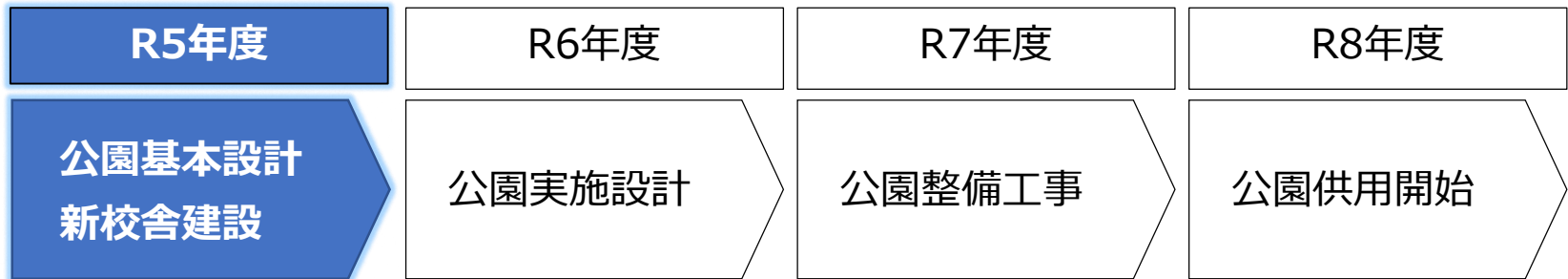
側面ネット開放時は柱近くで束なる

▶ 質疑応答

- ✓ 施設配置案に関する質疑応答

▶ 今後の予定

○ 公園整備の全体スケジュール（予定）



※R7年度の公園整備工事については、旧神谷中学校校舎解体後に着手する。

- ✓ 本日の報告会の内容は、ニュースを作成し、後日、区のHPやSNSなどにより、お知らせいたします。

▶ 閉会

- ✓ 本日の報告会の統括

【お問合せ先】

北区役所 土木部 土木政策課 事業計画係

TEL : 03-3908-9252 FAX : 03-3908-4042

mail : jigyokeikaku@city.kita.lg.jp